

報道関係者各位

## 応急仮設住宅バリアフリー化のパンフレットを作成（宮城）

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、被災自治体を通じて全戸配布へ

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会が運営する宮城県介護研修センターは、東日本大震災の被災者が暮らす応急仮設住宅の使いにくさを解消するため、公費負担によるバリアフリー化を解説したパンフレットを作成、被災自治体を通じて県内の応急仮設住宅すべてへの配布を開始した。

パンフレットは、応急仮設住宅の課題調査から判明した、玄関周りの段差解消、浴室内の手すりの設置や福祉用具の活用についての具体的方法が示され、それらが自己負担なく実施可能であること、問合せ先の一覧が掲載され、「使いにくいけど仕方ないから」と我慢するのではなく、少しでも使いやすいように福祉用具などを活用するよう呼びかけている。

このパンフレットは、視力が弱った人なども見やすいユニバーサルデザインに配慮した「つたわるフォント」を使用し、福祉用具の製造などを行っている企業から宮城県社会福祉協議会に寄せられた寄付で、2万5千部を印刷、11月下旬から被災自治体の応急仮設住宅担当課などを通じて、仮設住宅で暮らす住民に順次、配布されることとなっている。

### ●東松島市で応急仮設住宅の課題を調査、玄関周りや浴室の使いにくさが明らかに

日本社会福祉士会による調査で専門的な相談が必要であるとされた90世帯について、宮城県介護研修センターが、宮城県東部保健福祉事務所とボランティアの作業療法士の協力を得て、平成23年8月から9月にかけて専門的な相談にあたった結果、76世帯については段差解消や福祉用具の活用といった、バリアフリー化の対応が必要なことが明らかとなった。この結果を踏まえ、同様の課題は他の仮設住宅にも共通するものとして、寄付金を活用したパンフレットを作成、全戸に配布することとした。

<p>&lt;つたわるフォントとは&gt;</p> <p>博報堂ユニバーサルデザインなどが共同開発した、より多くの人に、読みやすく、見やすく、美しく、内容を間違いなく伝えるために、開発されたフォント。</p> <p>&lt;寄付いただいた企業に関する情報&gt;</p> <p>株式会社ランダルコーポレーション 埼玉県朝霞市西原 1-7-1、電話：(048) 475-3661</p>	<p>&lt;宮城県介護研修センター&gt;</p> <p>介護意識の啓発、介護知識・技術の普及促進を図るため、宮城県が「介護実習・普及センター」として平成6年4月に設置。現在は指定管理者として宮城県社会福祉協議会が管理・運営し、介護に関する研修の他、福祉用具の活用に関する専門的相談、助言等を行っている。</p>
--	---

### <本件に関するお問い合わせ>

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 宮城県介護研修センター

〒989-4103 宮城県大崎市鹿島台平渡字上敷 19-7

TEL：(0229) 56-9608 FAX：(0229) 56-9763

E-mail：[kenkaigo@coral.ocn.ne.jp](mailto:kenkaigo@coral.ocn.ne.jp)